

順序	会 派 名	氏 名	答弁を求める者	
3	市 民 連 合	片 平 孝 市	市 長	教 育 長
			市 立 病 院 長	関 係 局 長

発言の要旨

<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1)市長の1期目の4年の評価と総括</p> <p>(2)市長の2期目への抱負と決意</p> <p>(3)スマート農業、6次産業化への取組状況と課題</p> <p>(4)歩いて楽しめるまちづくりへの具体的な事例と課題</p> <p>(5)本市施設の利用料や使用料、手数料等の値上げに踏み切った背景と真意</p> <p>2 令和7年度当初予算と地方財政計画及び本市財政の姿について</p> <p>(1)臨時財政対策債発行ゼロに対する見解、本市財政運営の変化や影響</p> <p>(2)地方債依存度に対する見解</p> <p>(3)プライマリーバランス赤字の内容と重視した点、次年度以降への影響、今後の推移</p> <p>(4)基金の目安の見直しの必要性、現行での施設整備への対応は可能か</p> <p>3 「鹿児島市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」について</p> <p>(1)令和6年度末までの事業の進捗状況、追加や見直されたもの</p> <p>(2)ロボットの効果と市民の反応</p> <p>(3)人材育成の成果と全庁的なDXの推進はどう図られてきたか</p> <p>(4)前期計画3年間のフェーズ1、2ごとの進捗状況、フェーズ3を見据えたものか、状況</p> <p>(5)前期計画終了までの到達点と残されている事業</p> <p>4 合併20周年を機にさらなる魅力の発掘で合併5地域の発展の糧とすべきことについて</p> <p>(1)令和6年度の合併5地域の事業における全体的な特徴と成果について</p> <p>①喜入地域における具体的な取組内容</p> <p>②喜入地域の成果の背景と、そこから見えるもの（共創の特徴と観点）</p> <p>③喜入地域の新たな施設の利用状況</p> <p>④吉田、桜島、松元、郡山地域におけるそれぞれの魅力と、何が地域おこしとして考えられるか</p> <p>(2)新年度事業の取組について</p> <p>①6年度の成果はどう生かされているか</p> <p>②どのように展開し継続させるか</p> <p>③合併5地域の今後の発展のカギは何か、この間の事業から考察される市民局長の思い</p> <p>5 宅配ボックス設置について</p> <p>(1)施策の効果をどう検証したか</p> <p>(2)優良財源の情報をどう収集しているか</p> <p>(3)新年度の事業としなかった理由と今後の導入に向けた見解</p>
--

- 6 鹿児島市再犯防止推進計画の具体的な取組について
- (1) 更生保護ボランティア活動団体と本市の協働体制
 - (2) 対象者の多い南部地域へのサテライト型更生保護サポートセンター設置への支援
 - (3) 安心安全で犯罪が繰り返されない都市を創る取組への市長の決意
- 7 高齢者保健福祉・介護保険事業計画における認知症施策について
- (1) 新しい認知症観とは
 - (2) これまでの取組の成果と課題
 - (3) 課題の克服のためのこれからの取組
 - (4) 本市各部局との連携のありよう
 - (5) 共生社会を実現した姿
- 8 重度心身障害者等医療費助成事業について
- (1) 令和6年7月から7年1月までの申請件数と助成額の5年度との比較割合
 - (2) 制度変更に対して寄せられた意見要望
 - (3) 制度変更は制度の後退と考えるが当局の考え
 - (4) 自立支援医療制度と同様な制度を検討されたものか
 - (5) 月5,000円を自己負担とした場合の影響額
- 9 本市における賃上げの現状について
- (1) 本市の倒産件数（直近3年の実績）
 - (2) 元本返済期日が到達した融資の返済状況
 - (3) 経営が今なお厳しい状況の会社へのバックアップ
 - (4) 本市の中小企業の賃上げの現状
 - (5) 定期給与の平均月額（直近3年）
 - (6) 定期給与の最低賃金とその改定率との比較
 - (7) 令和7年度の産業振興部の主な取組
- 10 プレミアム付商品券等発行支援事業について
- (1) 令和6年度実施分の実績見込
 - (2) これまでの事業効果
 - (3) これまでの実績の分析から見えた課題とその克服のための対策
- 11 インバウンド観光について
- (1) 訪日外国人旅行者の動向と分析
 - (2) インバウンド誘客の取組と成果
 - (3) 受入体制の整備状況
 - (4) 魅力づくりの取組と成果
 - (5) これまでの課題と今後の展開

12 トップスポーツ公式戦誘致について

- (1) 国内におけるトップスポーツ競技の種類
- (2) 市内におけるトップスポーツ競技の公式戦の開催状況
- (3) 本市でキャンプを実施しているトップスポーツの種類とチーム数
- (4) トップスポーツ競技の公式戦誘致への取組
- (5) トップスポーツ競技の公式戦開催の経済効果
- (6) トップセールスとしての市長の決意

13 人と自然が共生する花いっぱいのみちづくりについて

- (1) 公園の花の選定と植え替え時期
- (2) 街角の花の選定と植え替え時期
- (3) 甲突川千本桜再生プロジェクト事業の進捗状況と課題
- (4) 城山公園自然の森再生事業の進捗状況と課題
- (5) 地域の特色を活かした花植への推奨活動

14 水と水辺を活かしたまちづくりについて

- (1) 錦江湾を活かしたまちづくりの事例と今後の計画
- (2) 甲突川などの河川を活かしたまちづくりの事例と今後の取組
- (3) 本市の市街地で水を活かしたまちづくりの事例と評価、今後の取組
- (4) 旧5町地域の水を活かしたまちづくりの事例と今後の取組

15 住居表示について

- (1) 令和6年度末における住居表示の実施率
- (2) 7年度以降の取組
- (3) 市街化調整区域及び旧5町地域への取組

16 建設業者の施工能力向上への取組について

- (1) 対前年度比 12.1%減の主な要因分析（令和6年度における前倒し予算額含む）
- (2) 過去5年間の国の内示率の推移と国への要望
- (3) 建設局の工事契約件数の推移（4年度～6年度の各12月末）
- (4) 4年度から6年度までの総合点数ごと（1,000点以上、800点以上1,000点未満、600点以上800点未満、600点未満）の業者数

17 市立病院の経営状況について

- (1) 新年度予算の赤字の分析
- (2) 年度末資金残高の過去5年間の推移
- (3) 経営計画と乖離してきた理由と今後の見直しの考え
- (4) 再整備計画の遅延の要因とその影響
- (5) 南九州における中核的病院としての診療科整備状況の認識
- (6) 病院独自での黒字化への取組と赤字経営からの脱却の見通し
- (7) 設置者としての病院経営への責任の認識

18 市立病院の鹿児島大学大学院との連携講座設置について

- (1) 博士課程取得機関指定への取組
- (2) 指定機関として医師のスキルアップ効果
- (3) これまで博士課程を取得した医師数
- (4) 有望な医師確保策への効果
- (5) 若手医師の育成機関として果たす役割の認識

19 交通局の予算編成について

- (1) 新年度予算編成における特徴的な考え
- (2) 経営計画と乖離してきている要因とその影響と見直しの取組
- (3) 過去5年間の事故原因分析（人に起因するものと施設設備によるものの別）
- (4) 事故ゼロへの取組とそれらに係る予算措置と財源の裏づけ
- (5) 設置者としての交通経営への責任の認識

20 上下水道事業について

- (1) 他都市での陥没事故を受けて本市の上下水道管路の維持管理の現状と課題について
 - ① 上下水道管路の点検・調査はどのようにされているのか
 - ② 過去5年間で水道管路の漏水が原因の陥没箇所が何か所あったのか
 - ③ 過去5年間で水道管路の漏水が原因の陥没に起因する事故が発生したことがあるのか
 - ④ 過去5年間で下水道管路の老朽化が原因の陥没箇所が何か所あったのか
 - ⑤ 過去5年間で下水道管路の老朽化が原因の陥没に起因する事故が発生したことがあるのか
 - ⑥ 点検・調査の課題
- (2) 上下水道の老朽管の改築・更新計画と進捗状況及び課題
- (3) 雨水の浸水対策の現状と課題
- (4) 上下水道技術職の育成の現状と課題

21 学校敷地内（小・中・高校）の駐車場への利活用の現状と課題について

- (1) 教職員の利用状況と管理運営
- (2) 来訪者への駐車場の確保状況
- (3) イベント時等の駐車場の利用の在り方と課題
- (4) 教職員の駐車場利用に際しての使用条件等
- (5) 学校敷地内での事故や児童生徒が車を損傷させたときの対応
- (6) 学校敷地内利活用の教育委員会の統一的な指導

22 教育行政について

- (1) 令和7年度の鹿児島県公立高等学校入学者選抜出願、一般入学者出願状況について
 - ① 推薦入学者選抜における市立3校の学科ごとの募集定員と出願者数
 - ② 市立3校の過去2年と7年度の推薦入学者選抜の出願状況、そこから見える要因や特徴の分析
 - ③ 鹿児島商業高等学校と鹿児島女子高等学校における学科再編後のさらなる新年度の対策や対応

(2) 学校規模の適正化適正配置への対応について

- ① ガイドラインが示された以降6年間で桜島学校と明和校区以外に動きが見えないことへの見解
- ② 「学校整備推進担当部長」を配置しどのように推進するのか
- ③ 推進体制の強化に伴う目標や進行管理はどうか
- ④ 明和校区の小中一貫の義務教育学校の開設に向けて年度内に具体的に何をどう進めるのか
- ⑤ 新年度の展開、開校までの時間軸

順序	会 派 名	氏 名	答弁を求める者	
4	自 民 党 市 議 団	仮 屋 秀 一	市 長	教 育 長
			市 立 病 院 長	関 係 局 長

発言の要旨

- 1 市長の政治姿勢について
- (1) 令和7年度予算編成について
- ①時代に、未来に、選ばれるまちの実現に積極果敢に挑戦する予算というキャッチフレーズを象徴するものの具体と実現に向けた考え方
 - ②選ばれるまちを目指すには生活環境の整備を優先すべき
- (2) 県のスポーツ・コンベンションセンター整備運営事業の本市のまちづくりにとっての費用対効果に関する市長の見解
- (3) 「2025年問題」等人口減少・少子高齢化が本市地域経済社会へ与える影響及び市民への対応を含む本市の対策
- (4) 食肉センターについて
- ①これまでの役割に対する認識
 - ②今後の運営の在り方についての方向性
- (5) 副市長人事についての考え方
- (6) 選択的夫婦別姓に対する考え方について
- ①日本の家制度に対する評価
 - ②選択的夫婦別姓制度に関して、賛成・反対どちらの立場であるか、また、その理由
 - ③選択的夫婦別姓制度が導入された場合、家族や子どもたちにどのような影響があるかと考えるか、市長並びに教育長の見解
- (7) 錦江湾横断道路に関して
- ①桜島大橋推進協議会からの要望の内容と見解、今後の対応
- (8) 県市長会の会長選挙等について
- ①今回の改選でなぜ手を挙げなかったのか
 - ②次期改選に向けての思い
 - ③県市長会の果たす役割と会長の立ち位置に対する見解
- 2 令和7年度一般会計当初予算（案）について
- (1) 予算編成の基本的な考え方と特徴
- (2) 過去最高の当初予算額となった要因
- (3) 自主財源比率が3年ぶりに4割を割り込む中、予算規模の裏づけとなる財源確保策
- (4) 市税が大きく増加した要因、国の税制改正の影響
- (5) 地方交付税の増要因
- (6) 使用料を総合的に改定した理由、影響額
- (7) 第六次鹿児島市総合計画の基本目標ごとの予算額と主な事業
- (8) 物価高騰対策の生活者支援・事業者支援ごとの予算額と主な事業

- (9) 普通建設事業費のうち補助事業の減要因と地域経済への影響に対する見解
- (10) 実質的な市債残高の増とプライマリーバランスの赤字に対する見解
- (11) 当初予算時における財政3基金残高の推移（直近5年間）
- (12) 財政調整基金を取り崩さなかった理由と財政3基金の残高確保の考え方
- (13) 2期目初年度の当初予算案に対する市長の思いと評価。今後の財政運営に対する市長の考え方

3 移住促進策について

- (1) これまでの移住促進策の経過
- (2) 移住者数の推移（平成28年度・令和5年度）
- (3) 移住者属性の特徴
- (4) 移住促進策による効果
- (5) 移住促進策における目標値の達成状況及び課題
- (6) 今後の取組

4 ふるさと納税（個人版）について

- (1) 令和5年度のふるさと納税寄附額上位自治体の特徴
- (2) 本市へのふるさと納税寄附額（5年度、6年度の状況）とこれまでの推移及び特徴
- (3) 本市住民の他自治体へのふるさと納税による影響（住民税寄附金税額控除額・実質収支の推移）
- (4) 本市へのふるさと納税寄附額の目標額
- (5) 寄附額増（目標額）達成に向けた取組

5 交通行政について

- (1) バスの運転者不足問題について
 - ① 直近の運転者不足数（3民間交通事業者・交通局）
 - ② バスの便数の令和2年・6年比較（3民間交通事業者・交通局）
 - ③ 当面の対策と運転者確保の見通し
- (2) 運転者不足問題に対する危機認識が甘かったのではないか、市長の見解
- (3) 公共交通ビジョン改定を通じて、運転者不足問題をいかに解決するのか、市長の見解

6 鹿児島市客引き行為等の禁止に関する条例について

- (1) 条例制定に至った経緯及び県条例との違い
- (2) 条例施行（令和5年10月1日）以降の状況について
 - ① 施行の前後を比較した禁止区域の状況と本市の具体的な取組による効果
 - ② 条例施行以降の指導等の内容及び件数
 - ③ 地域及び警察との連携
 - ④ インバウンド対策
- (3) 解決すべき課題と今後の取組

7 桜島火山防災研究所と避難行動要支援者の個別避難計画の関連について

- (1) 桜島火山防災研究所の今後の研究計画

(2) 避難行動要支援者の個別避難計画について

- ① 制度概要
- ② 作成者及び避難支援等実施者
- ③ 研究所が個別避難計画に果たす役割

8 地域コミュニティ協議会の現状と問題点等に関連して

- (1) 地域コミュニティー活動の活性化と地域づくりにおける積極面、マイナス面での影響と今後の取組
- (2) 第1期、第2期地域コミュニティプランの内容において量・質両面からの変化
- (3) 「コミュニティ意見懇話会」で示された方向性と対応及び本年度見直しを行った地域コミュニティ協議会に対する補助金の主な改定内容とその効果
- (4) 各協議会における自主財源及び補助金の構成比率の現状、その評価、今後の課題
- (5) 協議会における学校・PTAとの連携活動の現状、課題に対する教育委員会としての見解

9 住民異動手続き等における「書かない窓口」事業について

- (1) 目的と概要
- (2) 利用状況と効果
- (3) 利用者の評価
- (4) 課題と今後に向けた新たな取組

10 ゼロカーボンシティかごしまの推進について

- (1) 環境政策課と再生可能エネルギー推進課の統合の意義と今後の展望
- (2) 令和6年度のGXに向けた脱炭素モデル調査事業の結果
- (3) ゼロカーボンガス導入事業の内容と効果

11 障害児通所支援利用者負担軽減事業の見直しについて

- (1) 見直しの内容について
 - ① 延べ利用者予想等の積算根拠
 - ② 見直しによる削減見込額
- (2) 障害者自立支援協議会第16回子ども部会での見直しに関する意見
- (3) 事業継続に向けた見直しの目的と必要性

12 こども医療費助成事業について

- (1) 新年度予算額と財源内訳、令和6年度との比較
- (2) 利用者、医療機関、本市の手続の変更点及び周知方法
- (3) 負担増の財源の確保
- (4) 7年度の県内18市の助成対象年齢と自己負担の有無
- (5) 直近の中核市62市の助成対象年齢と自己負担の有無について
 - ① 助成対象年齢（中学3年生までと高校生までの数）
 - ② 自己負担額の有無及び中学3年生までと高校生までの数
- (6) 無償化による受診行動への影響対策

(7) 県、国の財政支援について

- ① 県が自己負担を 2,000 円に引き下げた場合の本市への補助金の増加額（試算）
- ② 国の動向

13 地域課題解決ビジネス支援事業補助金について

- (1) 概要・目的
- (2) 本事業での地域課題の解決とは何か
- (3) 寄附者と支援者とのマッチング方法
- (4) クラウドファンディング型ふるさと納税と企業版ふるさと納税の活用理由
- (5) 支援後のフォロー体制
- (6) 本支援に求める将来像

14 西郷隆盛生誕 200 年・没後 150 年記念プロジェクト推進事業について

- (1) 本事業の目的・概要・事業費内訳
- (2) 事業計画の策定方法
- (3) 今後のスケジュール（令和 8、9 年度）
- (4) 関係自治体や民間等との連携
- (5) 期待される効果

15 多機能複合型スタジアム整備検討事業について

- (1) 事業費の内訳
- (2) 昨年の附帯決議をどのように捉え本事業に生かすのか
- (3) 県との連携、協議状況
- (4) サンロイヤルホテル周辺の地権者の方々との協議の現状
- (5) 市長の考え

16 建設局関係予算（土木費）について

- (1) 大幅減額の要因
- (2) 新年度予算編成時における留意点と工夫した点
- (3) 中長期的計画への影響
- (4) 本市建設業に対する影響（経営、人材確保・育成）と災害時対応や経済への影響
- (5) 関係予算の弾力運用に対する市長の見解

17 まちなか夜間景観形成事業について

- (1) 事業目的
- (2) 地域との連携と見込まれる効果
- (3) 実証実験の場所と実験内容及び進捗状況
- (4) 観光資源としての考え方
- (5) 今後の取組と他部局との連携及び課題

18 鹿児島市渋滞対策基本計画策定協議会について

- (1) 設置の経緯、目的
- (2) 構成メンバー
- (3) 協議会に対する本市の役割
- (4) 協議会に対する建設局内各課の意見反映
- (5) 基本計画策定における議会への対応
- (6) 第1回策定協議会での協議内容や主な意見
- (7) 今後のスケジュール

19 消防局における災害時応援及び受援体制について

- (1) 大規模災害時応援に関する計画
- (2) 「鹿児島市消防局災害時受援計画」策定の経緯・概要と目的
- (3) 受援計画に定める宿営場所
- (4) 運用時の課題精査の必要性

20 緊急消防援助隊活動拠点施設整備事業における自家給油施設の整備について

- (1) 想定する1日当たりの使用量及びタンクの貯蔵量に対する考え方
- (2) 施設の運用方法
- (3) 整備の効果
- (4) 市消防総合訓練研修センター内に整備することとした理由
- (5) 施設の増設についての考え方

21 市立病院事業の現状と課題について

- (1) 入院患者数・入院単価減の要因と対応
- (2) 外来患者数減の要因と対応
- (3) 給与改定による給料増の考え
- (4) 法定福利費増の考え
- (5) 退職給付費減の考え

22 交通局の現状と課題について

- (1) ラピカプレミアム廃止に係るシステム改修費用
- (2) 大型自動車第二種運転免許取得支援事業で受験資格条件を普通自動車第一種免許等の取得後通算して3年以上とした理由と正規職員としての採用
- (3) 交通局職員で市長事務部局に異動した職員への復帰の働きかけ

23 上下水道事業について

- (1) 本市の下水道管路（汚水）の維持管理について
 - ① 50年を超える下水道管（汚水）の割合
 - ② 改築が必要な老朽管の判断
 - ③ 点検、調査の方法
 - ④ テレビカメラ調査をいつから実施しているか
 - ⑤ 点検、調査結果の改築計画への反映方法
 - ⑥ 改築計画の進捗状況

(2) 第2期経営計画におけるDXの推進について

- ① ICTの活用の取組状況
- ② スtockマネジメントシステムの具体的な活用方法

(3) 宮城県で取り組んでいる人工衛星を活用した漏水調査について

- ① 人工衛星を活用した漏水調査の概要
- ② 人工衛星を活用した漏水調査の効果と課題

24 船舶事業及び桜島フェリーの深夜運航見直しについて

- (1) 深夜運航見直しによる経費削減見込額の内訳
- (2) 緊急車両への対応と人員体制の内訳
- (3) 県に財源支援要請をすべきと思うが見解
- (4) 消防等からの要請後の流れ
- (5) 桜島フェリーを活用した運航停止時間帯の救急搬送の事故種別の内訳（令和6年中）
- (6) 深夜運航停止前後4便の1便当たり平均旅客人員と車両台数
- (7) 7年度年間輸送旅客人員増と輸送車両台数増の要因

25 学校部活動の地域移行について

- (1) 地域移行に対する国の方針
- (2) 神戸市及び九州県都市の取組状況及び課題
- (3) 市立中学校生徒の令和6年度の部活動への参加状況及び地域移行における本市の目指す姿
- (4) 6年度のモデル事業の内容及び成果
- (5) モデル事業における課題及び市立中学校全体の今後の課題
- (6) 7年度以降の取組

26 市立3高等学校における現状と課題について

- (1) 昨年度と今年度の学力検査の最終出願倍率
- (2) 学校推薦並びに自己推薦の募集定員に対する割合
- (3) 過去3年における推薦入学者選抜の出願者数
- (4) 推薦入試における評価基準
- (5) 最終出願状況に対する所感
- (6) ハード面・ソフト面における課題
- (7) 母校応援ふるさと寄附金の状況（各校の寄附総額・活用額・現在の残高及び活用用途）
- (8) 今後の取組

27 不登校・長期欠席児童生徒への支援について

- (1) フレンドルーム支援事業について
 - ① 現在までの利用生徒数
 - ② 昨年度欠席30日以上の子生徒数と、そのうち現時点で欠席30日未満となった生徒数
 - ③ 昨年度と比較して欠席日数が減少した生徒の割合と、特に改善が見られた事例

(2) フレンドステップ・メタバース支援事業について

- ① 利用対象とした児童生徒の範囲及び現在の利用者数（小中学校別）
- ② 1日当たりの利用人数と、1人当たりの利用時間
- ③ 利用状況を学校へどのように伝え、学校はどうか活用しているのか

(3) 両事業導入の成果及び今後の取組